

沖揚げ音頭の記録映像が完成！



旧黄金小時代から続いている、浜益小の沖揚げ音頭。毎年発表を行っていた「浜益ふるさと祭り」はコロナによって2年連続中止となり、伝統の継承が途絶えてしまうことに不安を感じていたそうです。

そこで昨春秋、沖揚げ音頭を記録映像として残すために、学校敷地内で沖揚げ音頭の撮影を行いました。この様子がインターネットの「YouTube」で公開されています。パソコンやスマートフォンから閲覧できます。子どもたちの頑張りをご覧ください。



浜小YouTube

浜益小5・6年生の動画も更新中！



YouTube【浜益小学校】
【コロナに負けるな浜益】
で検索してね！



ボランティア除雪で子どもたちニッコリ

浜益中1・2年生が、はまます保育園の除雪を行いました。中学校では浜益を笑顔にする「ハママス・スマイル運動」に取り組んでおり、通路のゴミ拾いや生徒同士の関わり作りなどの活動をしています。

一度目はグラウンド側の雪を、そして二度目は海が見える窓側を除雪しました。作業の様子を見ていた園児たちから「ありがとう！」という声が響くとみんな笑顔に。生徒のみなさんお疲れ様でした。

まち協HP



Facebook



まち協通販



オンラインだどこにいても参加できる！

当日の様子



コロナに負けず活動中！
～増毛山道の会～

2月20日、グリーンティというオンラインフォーラムにて、増毛山道の会が講演を行いました。

このフォーラムは札幌のZOO法人エゾロックが毎年この時期に開催しているもので、講演のほか参加者が話し合う場もあり、おもに青年層が参加しています。

増毛山道の会のみなさんは、山道を復元しようとして活動を始めた経緯や、復元中の苦労、協力者が増えていった話などを紹介、なかでも「山道は復元して終わりではありません。大変なのはこれから」という言葉に重みを感じました。会員の高齢化、山道の整備や管理などは待ったなし。これはどんな会にも共通する悩みです。地域にとらわれず、とにかく発信して関心を持ってもらい、様々な人を巻き込んでいく、そういう仕組みがますます重要になっていけると感じます。

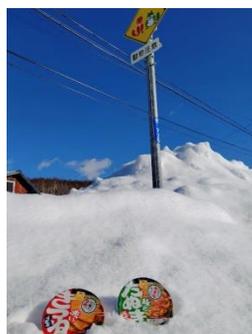
浜益に赤い〇〇と 緑の〇〇がいた!?



ある日、Googleマップで場所の確認をしていたら、浜益の某場所に「赤いきつねと緑のたぬき」という表示を見つけました。どうやら標識のようです。(なぜかその後、マップに表示されなくなりました)

気になって調べてみたら、北海道のご当地的な標識(補助看板)らしく、道央自動車道では滝川市や深川市近辺でこの看板が見られるそう。

某即席麺と同じカラーになったのは、ドライバーに見えやすい色をとということだまたまのようですが、マルちゃんでおなじみ東洋水産HPでもこの看板について触れています。



荘内藩陣屋研究会からの おしらせ



市民図書館浜益分館に、荘内藩で関わりのある山形県人会の方々から、本が寄贈されているのをご存じでしょうか。

山形県出身である藤沢周平さんの作品をはじめ、荘内藩関連の本も色々いただいています。

荘内藩陣屋跡の資料展示とともに、こちらもお楽しみください。

コロナに負けるもんか!

どこにも出かけられないウップンを
オンラインのツアーで晴らしてみた!
～山梨県勝沼ワイナリー編～



コロナの影響で、なかなか思うようにお出かけ出来ないけど、「せめて旅行気分をあげてみるべ」と、あるオンラインのツアーに申し込んでみました。

今回申し込んでみたのは、「峡東地域世界農業遺産推進協議会」開催のフットパスツアー。ワインで有名な山梨県勝沼地区の葡萄畑やワイナリー、歴史的遺構などを巡るといった内容です。

地域の方がガイド役として、オンライン上で実際のコースをトークを交えながら歩いていきます。

観光名所も押さえつつも、メインはなんでもないような住宅エリアでたまたま遭遇した知人との世間話や、地域ならではのネタのオンパレード(笑)。現地の人だからこそのリアル感というか、地域のありのままの魅力が十分に伝わってきて面白かったですよ。

行った気になれるオンラインツアーって、ちょっとクセになりそう。

自分の日常だけど、他人からみたらそれが非日常で面白い!

浜益でもそんな楽しんでもらえるようなツアーがたくさんできたらいいな～。 (柿)